

令和7年度 評価基準

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	月	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学に取り組む態度
生物育成の技術	4 5 6 7 8	『栽培計画書（ミニトマト）』の作成 ・表紙の作成 ①野菜とは何か ②野菜の歴史・特性等の調べ学習 ③ミニトマトの栽培について作物の育成環境を調節する技術について調べる。 ・ミニトマトの育成を行い育成環境を調節する技術を体験する。	・野菜についての調べ学習をインターネットを活用することができる。 ・野菜の定義づけ・歴史・特徴 *「ミニトマト」の苗植え実習 ・ミニトマトの成長を観察して計画書にまとめることができる。 ミニトマトの特徴と調理方法を理解できる ・ミニトマトの成長の様子を観察しレポートにまとめことができる。苗付け、栽培方法、培養土、水あげ等を理解し、栽培方法を理解できる。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。	生物育成の技術の最適化について考えている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生物育成の技術の評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
エネルギー変換の技術	9 10 11 12 1 2 3	『コロックル』の製作 はんだづけ ①基板について…銅箔 ②使用工具…電気はんだごて、ニッパ、ラジオペンチ、クリーナ ③はんだ…鉛と錫合金とはどういうものか理解させる。 ④はんだづけ方法と諸注意 はんだごての持ち方、はんだづけ時のやけどと煙の吸引注意。 固定抵抗器、コンデンサ、LED、トランジスタ等をはんだづけする。 計測と制御の学習 プログラム学習 ①順次処理 ②反復処理 ③分岐処理	・はんだづけを成功させるために ①事故防止(やけど、煙の吸引)の諸注意 ②基板の銅箔、はんだ、はんだごてのこて先の付ける順序 ③はんだづけ後のリード線の切断 ④クリーナの効果的な使い方等を理解出来る。また、事前に熱に弱い部品や構造のもろい部品等をチェックし、失敗のないようにできる。 ニッパによる芯線の出し方や芯線の束ね方を理解出来る。また、コード線のねじ止めの仕方、はんだづけの仕方を理解できる。 電気→光・音のエネルギー変換について理解できる。 プログラムによる計測・制御について理解することができる。 ①制御の仕組みを知る ②コロックルをパソコンにつなげ、順次・反復・分岐プログラムを実際に組み、オーロクロックを作動できる。	入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。	生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解してる。 エネルギー変換について理解している。 他者と協力して実験に参加できる。実験の意味を理解できる。

